

数学科シラバス 高校2年「文系数学演習」2023年度

1. 教科到達目標

人間を取り巻く環境や、身の回りで起こる様々な事象に対する科学的な探究心を持ち、数学で学んだ力を通して、積極的に社会に還元する姿勢を養う。	様々な自然現象・社会現象を数式・グラフなどを用いて表現し、様々な数学的技法によってそれを処理し、その結果を解釈する力を養う。	数学が社会の様々な分野の基礎を支えていることを踏まえ、物事を数学的に解釈し、基礎的な計算処理を行う力を養う。
--	--	--

S：想定以上に該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの

A：期待通りに該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの

B：部分的に該当能力の醸成が達成されたと判断されるもの

C：該当の能力の醸成が不十分と判断されるもの

2. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(教科名) 数学 (科目) 文系数学演習	2 単位	第 2 学年	教科書：なし 問題集： 「キートレーニング数学演習ⅠⅡAB」 数研出版
学習の到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点	<知識・技能> 基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。		
	<思考力・判断力・表現力> 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。		
	<主体性・多様性・協働性> 数学的知識を用いて事象を表現する良さを認識し、問題解決の過程を振り返って考察を深め、積極的に評価・改善したりしようとする態度を身につけた。		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・100%

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・80%

C：「努力を要する」状況と判断されるもの・・・60%

D：未提出，未実施・・・0%

3. 学習計画及び評価方法等

月	単 元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
4 ～ 7 月	・式と計算 ・命題と集合 ・2次関数 ・三角比 ・データの分析 ・場合の数・確率	既習分野において、定理や解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。 入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。	キートレーニング数学演習ⅠⅡAB ① 授業がある前の日は、Get Ready（基本問題）を解いておく。 ② 授業があった日は、扱った問題を復習する。
9 ～ 11 月	・図形の性質 ・整数の性質 ・二項定理 ・等式・不等式の証明 ・複素数 ・剰余定理・因数定理 ・図形と方程式 ・三角関数	既習分野において、定理や解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。 入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。	キートレーニング数学演習ⅠⅡAB ② 授業がある前の日は、Get Ready（基本問題）を解いておく。 ② 授業があった日は、扱った問題を復習する。
1 ～ 2 月	・指数関数・対数関数 ・微分法・積分法	既習分野において、定理や解法など、大学入試における基本的な考え方や重要事項を再確認する。 入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。	キートレーニング数学演習ⅠⅡAB ③ 授業がある前の日は、Get Ready（基本問題）を解いておく。 ② 授業があった日は、扱った問題を復習する。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
＜知識・技能＞ 問題集で扱った問題が確実に解けるようになった。			定期考査（60%）
＜思考力・判断力・表現力＞ 大学入試基礎レベルの頻出問題が解けるようになった。			定期考査（40%）
＜主体性・多様性・協働性＞ 既習分野の基本的な問題を確実に解答した。途中式も正確にかくように努力した。テスト後の振り返りを行い、理解を深めた。			小テスト・提出物など （+αで10%程度）

【提出物の評価基準】

A：期限を守り、答えの丸写しではなく自分の考えで8割以上解答している。

B：解答はしっかりとできているが期限を守れなかった。
もしくは期限を守れたが空欄が2割以上ある。

C：未提出